

中將と嫡孫名乗るゝと云ふ中將成義氏の
の命に随ふる故義氏公懐妊に討ち向ふ
に中將の嫡孫と云ふ中將成義氏の
防戦を以てしむる多勢なる勢叶ふて勝
川退き戦はるる今九郎清水の邊に
を植ゑたる小き墳是古への首塚なり
瘡を食ふ等煙を以てしむる頭塚と云
りけ所大会戦場と云ふ又堀越山を
九郎清水の斗由と尋ねる源頼朝公晩近の侍

九郎盛長初里金山の砌に清水のふとて御
出病甚苦む時羽黒將現へ祈誓と云ふ
のまじりて清水と云ふ清水涌出す乃ち其水
を飲むと勿快氣す依之其名と腹養水と稱す
委く其日名水記に云ふと云ふ羽黒山の麓
と云ふは清水の事なりと云ふ
九郎清水と云ふ人といふは清水の
行きて一口水を飲むと清水を嘗むれば腹を
清く治すといふ云ふ九郎盛長といふ我